



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第14号 (H23.8.24)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司

# 質実剛健

「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」



## 意欲の高揚

—充実した2学期を！—

今年の夏は、例年になく猛暑でした。どんな夏休みを皆さん、過ごしましたか？今日から2学期が始まります。保護者の皆様は、お弁当の用意など「また始まったな」というお気持ちでしょうか？2学期が始まるにあたって、まず、「心の調整」をし、物事に集中して取り組める構えを早く作りたいものです。また、この夏休みの「前進面、成果」は何か。細かく見ていけばたくさんあるはず。できなかった部分ではなく、



「できた」ところをあらいざらい出して、そこに自信と意欲に満ちてスタートをきるからこそ、2学期を充実させてくれます。なによりも、そんな自分が好きになり、意欲が湧いてきます。

今日から充実したロングランの秋、2学期の開始です。言うまでもなく、2学期は学校生活の上でも、人間的な成長の上でも重要な時期です。2学期は、都泉祭（文化の部：合唱コンクール、展示物の作成・体育の部：体育大会）、都北音楽祭、ロードレース大会等の学校行事など様々な行事があります。それに向けて、さらに、学級の団結力を高めるとともに、自分自身の努力目標を持ち、ひとつひとつ着実に積み重ねて、健康で実りの多い学期にして欲しいものです。

学習面では、確実に学力を身につけるためには、授業に意欲的に取り組むことが大切です。常に前向きな気持ちで、1時間、1時間の授業を大切に、家庭学習（泉ヶ丘学習サイクル）の習慣をしっかり身につけましょう。部活動も限られた時間を有効に使い、意欲を高めて活動すれば技術・技能が向上します。新人戦（中体連）に向けて頑張りましょう。

学力向上、部活動の技能・技術の向上の基盤になるのが、生活面、心の持ち方です。あいさつ、身だしなみ等の改善を図り、規則正しい生活を送ることに心がけ、基本的な生活習慣を維持することが大切です。また、諸活動の中で、いろいろな人とのふれあいがあります。そのふれあいの中で、多くのことを学び、心を豊かにして欲しいものです。充実した2学期、保護者の皆さんとともに見守っていきましょう。

## 親から子へ受け継ぐもの

昔、PHPを読んだ、落語家・俳優の桂小金治さんの話を紹介します。全部書けないので要約しながら書きます。

<辛抱の草笛>

小学生のころ、小金治さんはハーモニカが欲しくてたまらなかった。思い切ってお父さんに買ってほしいとねだった。「すごくきれいな音がでるんだよ」と。そのとき、お父さんは「きれいな音ならこれで出るぞ」と言って、神棚の榊の葉っぱを一枚ちぎると、それを唇に当てて器用に「故郷（ふるさと）」という曲を奏でた。小金治さんは、次の日から草笛の練習を始めた。ところがピーともスーともならない。意外に難しいものだから小金治さんは草笛を諦めた。これを見てお父さんは、「一念発起はだれでもする。とりあえずの努力もする。しかし、そこで諦めたら、どんぐりの背競べで終わってしまう。そこから一歩抜き進めるためには、努力の上に辛抱という棒を立てることだ。この棒には必ず花が咲くものだ」。

翌日から小金治さんは再び草笛の練習を始めた。辛抱強く音を出す練習をした。一ヶ月もかかっただろうか、とうとう小金治さんは草笛で曲を奏でることができた。そして、お父さんの前で草笛を披露することができた。翌日目が覚めると、枕元にはハーモニカが置いてあった。「母ちゃん、父ちゃんがハーモニカを買ってくれた

自然科学探究1年 個人テーマ

荒武 諒河	なぜアメンボは水に浮くのだろうか
有里 海斗	なぜ、鉄はさびるのか
川越裕太郎	なぜ、豆電球は光るのか
木下 亘耶	なぜ鉄はさびるのだろう
児玉 善洋	なぜ、茶柱ができるのか
紺谷 拓生	なぜ、高い場所で沸点は低いのか
高橋 英也	セミは、何によって羽化する時期を確認しているのか
寺本 和弘	イモを食べるとなぜかゆくなるのか
常盤 大智	なぜ、氷には白いものができている氷と、そうでない氷があるのだろうか
豊國 想太	なぜタマネギを切ると涙がでるのだろうか
仲道 稜	朝に背が伸びているのはなぜか
中村 泰生	どの炭がよくもえるのだろうか
中村 風雅	なぜ、鉄は錆びるのだろうか
馬場 情平	なぜ電気はつくれるのか
福島 颯一郎	キオビエダシヤクは、なぜ日本で繁殖したのか
堀之内 友也	なぜぬれている所は滑りやすいのだろう
益満 和寿	花に集まる昆虫は、花の何を目印に集まってくるのだろうか
松本 眞太郎	サッカーで、プロが使う技、無回転キックは、なぜぶれるのだろう
赤崎 智子	なぜ、新聞紙で窓を拭くと、きれいになるのか
有馬 茉優	なぜ、植物は、色の違いがあるのだろうか
稲江 夢美	なぜ冬に静電気は、起こりやすいのだろうか
井上 菜々子	空気中の酸素や二酸化炭素が増えたら、植物の呼吸の速さはどうか変わるのだろうか
今栖 実柚	なぜ、炭酸水は、ふったらふきでるのだろう
今村 萌絵	ご飯粒で、しみを消すことができるのだろうか
江口 百香	どの色があたたまりやすいのだろうか
大牟田 春香	なぜ、コップのまわりに水滴がつくのだろう
奥田 敦子	なぜ、家で作る氷は白くなるのに買う氷は透明なのだろう
萱嶋 桃菜	わさびにはなぜ、殺菌作用があるのだろうか
小林 優花	鉄はなぜさびるのか
新地 彩希	なぜ、古紙や新聞紙などで窓をみがくときれいになるのか
新地 海生	なぜ、白い服を着ると涼しく感じるのだろうか
須賀 彩華	なぜ、乾燥剤があるとカビが生えづらいのだろう
立野 真咲	なぜ、自転車や釘はさびるのだろう
原田 知佳	なぜ、ポテトチップスは曲がるのだろう
日高 日那	なぜ、ローションティッシュはしっかりとれているのだろう
平山 凜桜	なぜ、りんごを塩水につけていると、茶色くならないのだろうか
益山 典子	なぜ冷たいペットボトルや温かいペットボトルのふたには水滴がついているのか
待木 希海	なぜ、糸電話で会話することができるのだろう
宮原 里奈	なぜ、新しく出た葉は、成長した葉より色が薄いのか
矢野 優花	なぜ、水を吸収しやすい紙とそうでない紙があるのか

よ。」小金治さんが嬉しそうにお母さんのところに飛んでいくと、お母さんはニコニコしながら小金治さんに言った。「父ちゃんは3日も前に買っていたんだよ。あの子は絶対に草笛が吹けるようになるからって」。嬉しくて涙がこみあげてきた。



そんな小金治さんにお父さんは「努力の上に辛抱の棒を立てたんだ。花が咲いて当たり前だよ」と言って笑った。そして、お父さんの前でハーモニカで「故郷」を吹いたのですが、嗚咽（おえつ）が混じってうまく吹くことができなかった。どうしてこんなに嬉しいんだろう。それは、ハーモニカを買ってもらえたからじゃなく、お父さんが小金治さんのことを信じてくれたから。だれかに信じられるということは、こんなにも嬉しいことなんだ。だから絶対に、信じてくれる人を裏切ってはいけないんだ。小金治さんは、子どもながらにそう思ったことを今も忘れない。と……

現代は、物が豊富な時代、親は子どもからせがまれるとついつい買い与えてしまう。親の在り方を考えさせられる文章だと思う。与え方一つで、子どもに豊かな感情や物を大切にすることを育むことができる。また、辛抱して努力することにより、辛抱の後に咲いた花の美しさ、つまり本当の喜びを味わうことができることを教えてくれている「辛抱できない人間は何もつかめない（お父さんの言葉）」という言葉をかみしめたいものである。勉強も部活動も辛抱なくして上達はないし、やらされている間は、本当のおもしろさは味わえない。どうせやるなら、自分から積極的に何事にも挑戦してほしいし、成し遂げてほしいと切に思う。部活動は、ますます本格的な時期を迎え新人戦もひかえています。「一発発起はだれでもできる」の、この言葉の意味を深く受け止め、悔いのない活動を期待したい。

自然科学探究1年生の各個人のテーマが決まり、生徒たちは、夏休みのセミナー期間を利用して観察・実験に取り組んでいます。ご家庭でも実験・観察をしているのでしょうか。1年間かけて取組み、その研究成果について、プレゼンを使って3学期に発表することになります。そのために、大学から教授を迎えて、いろんな実験や講義を受けています。どんな成果が出るか楽しみです。また、2年生においては、2カ年かけゼミ形式で探究に取り組んでいきます。1年生での探究が基礎となり、応用という段階に入っています。3年生で発表、卒業論文となります。重厚な発表、論文となるのではないのでしょうか。楽しみです。